



平成27年11月9日

各 位

上場会社名 株式会社 ハンズマン
 代表者 代表取締役社長 大園 誠司
 (コード番号 7636)
 問合せ先責任者 取締役経営企画室長兼経理部長 田上 秀樹
 (TEL 0986-38-0847)

会計方針の変更等に伴う業績予想の修正に関するお知らせ

平成28年6月期第1四半期からの会計方針の変更及び最近の業績動向を踏まえ、平成27年8月4日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年6月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,956	536	894	579	113.69
今回修正予想(B)	15,311	927	1,018	675	132.56
増減額(B-A)	355	391	124	96	
増減率(%)	2.4	72.9	13.9	16.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年6月期第2四半期)	14,588	773	854	534	105.84

平成28年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,800	1,118	1,825	1,201	235.37
今回修正予想(B)	30,155	1,735	1,919	1,275	249.78
増減額(B-A)	355	617	93	73	
増減率(%)	1.2	55.2	5.1	6.2	
(ご参考)前期実績 (平成27年6月期)	29,024	1,580	1,748	1,073	211.96

平成28年6月期第1四半期から、会計方針の変更を行ったことにより、前期第2四半期実績及び前期実績につきましても遡及適用後の数値を記載しております。

修正の理由

従来、商品仕入代金の現金決済時に受け取る仕入代金の割引については、営業外収益の早期決済奨励金として処理しておりましたが、当第1四半期会計期間より、仕入控除項目として売上原価に含めて処理する方法に変更しました。この変更は、当第1四半期会計期間においてシステムの変更を行い、早期決済奨励金を含めたより精緻な商品部門別の損益管理が可能となったこと、早期決済が常態化し仕入割戻との区別が実質的になくなってきたことから、経営環境の変化と取引実態に即したより適正な経営成績を表示するために行ったものであります。具体的な変更内容につきましては、本日公表の「平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載しております。

また、この変更に加えて、当第1四半期累計期間におきましては、お客様の要望される商品の新規導入を背景とする商品力の向上、積極的な改装の推進による売場の楽しさ・演出力の向上、販売スタッフの専門知識のアップによる接客力の向上などにより、DIY用品を中心に売上高が当初の計画を上回りました。利益につきましても売上が堅調に推移したことに加え、お客様の要望で導入した新規商品の中でも利益率の高い商品群の販売が好調であったことなどから、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに計画を上回る結果となりました。

今回の会計方針の変更による経営成績への影響及び当第1四半期累計期間の実績を含む足元の業績動向等を勘案した結果、平成28年6月期第2四半期(累計)及び通期個別業績予想数値について、売上高、営業利益、経常利益、当期(四半期)純利益を上方修正いたします。

なお、当該会計方針の変更により、従来の方法に比べ平成28年6月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の営業利益が260百万円増加、経常利益は6百万円、四半期純利益は4百万円それぞれ減少し、平成28年6月期通期個別業績予想数値の営業利益が517百万円増加、経常利益は6百万円、当期純利益は4百万円それぞれ減少しております。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上